

○町民文芸誌「樹」第52号原稿募集中!

町民文芸誌「樹」編集委員会では、文芸誌に掲載する原稿を募集しています。
応募要項は次のとおりとなっていますので、たくさんの方のご応募をお待ちしています。

1. 応募資格 大樹町民および町にゆかりのある15歳以上の方
2. 募集作品

詩	50行以内（タテ書きに限る）
俳句・川柳・短歌	1人10句・10首以内
随筆	5,500字以内
戯曲・脚本	22,000字以内
創作・記録文・わたしの歴史	11,000字以内

（例：子育て奮闘記、家を建てるまで、
私の得意料理、開拓当時の話など）

写真、カット
3. 注意事項

作品はパソコン（Wordや一太郎など）のデータまたは、
原稿用紙でお願いします。

なお、「樹」専用の原稿用紙（25×22）は教育委員会に用意していますので、
必要な方はお申し出ください。

応募作品が多数の場合、選考することがあります。

応募原稿は返却しませんので、必要な方は事前にコピーをお取りください。
4. 応募締切 令和2年5月31日（日） ※期日厳守



【提出・お問い合わせ先】町民文芸誌「樹」編集委員会 ☎6-2133

メール：shakai_kyoiku-kakari@town.taiki.hokkaido.jp

○STEP日帰り体験活動

「雪の中の運動会」が開催されました！！



令和2年2月15日（土）、カムイコタンキャンプ場・尾田地域コミュニティセンターを会場にSTEP自然体験活動「雪の中の運動会」が開催されました。当日は、小学生9名・幼児親子1組の合計11名が参加し、ソリ競争・宝探しなど雪遊びが行われました。参加者からは「ソリ競争が楽しかった」「来年もまた参加したい」などの感想を聞くことができました。来年度も魅力的な事業を展開していきますので、たくさんの方にご参加いただきたいと思います。



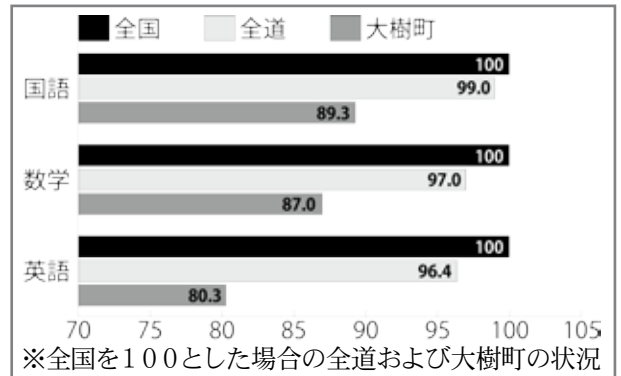
全国学力・学習状況調査の結果から② 中学生編

全国学力・学習状況調査は、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証、その改善を図るとともに、教育指導の充実や学習状況の改善などに役立てることを目的として、小学校6年生と中学校3年生を対象に、平成19年度から実施されています。

昨年4月に実施された調査の結果をもとに、大樹町教育研究所の協力により調査結果の概要と改善のポイントをまとめました。先月号で掲載した小学校編に続き、本号では中学校編についてお知らせします。

学力調査の状況

平成31年度の調査では、3教科とも全道平均を下回る結果となりました。今回の結果を踏まえ、普段の授業の質を高めながら、基礎・基本の確実な定着に重点を置いた指導で、自信と学習意欲を高めていく必要があります。



調査結果概要と改善方策例

【国語】

- ・「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」については、他の領域よりも理解が伺える。
- ・国語科における記述式の解答は、条件が増えることによって、問題に求められている趣旨から外れ解答するなど情報の読み取りが不十分で、かつ決められた字数で答えられない傾向がある。



Point

- ・授業などで「書く」機会を多くとるなど、対策を進める。
- ・読書活動を豊富にし、必要な情報を集め、読み取るなどの工夫をする。
- ・基礎的な学力定着に、校内研修の実施により、授業力向上を図る取り組みを充実する。

【数学】

- ・「数と式」については、他の領域よりも高い理解が伺える。
- ・数学に苦手意識が強い生徒が多い。特に、関数や資料の活用などで顕著にみられる。説明問題を頭では理解できているが、それを言葉を使って表現することが苦手な傾向がある。証明問題も同様の傾向が見られる。



Point

- ・数学的事象を数理的な考察や表現する能力を高めることが望まれる。
- ・苦手意識を取りのぞき、知的好奇心を喚起する工夫を行うなど、授業力向上を図る。

【英語】

- ・「聞くこと」に求められる、日常的な話題については、情報を正確に聞き取ることができていることが伺える。
- ・語や文法事項などを正しく用いて、文を書くことに大きな課題がある。
- ・話の内容や書き手の意見などを主体的にとらえることに課題がある。



Point

- ・文章全体のおおまかな内容をとらえさせた上で、大切な部分を読み取らせるなど指導の工夫をする。
- ・事実やテーマから想起される自分の考えや気持ちなどを整理したメモなどを基にして書き始めることに慣れさせる。

【学習状況調査から】

- ・「国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり、書いたりしている」と回答した生徒の割合が全国を上回っている。
- ・「英語を聞いて概要や要点をとらえる活動が行われていたと思う」と回答した生徒の割合が全国、全道を上回っている。
- ・「自分で計画を立てて勉強している」との回答者が半数に満たない状況。



Point

- ・定期テストや学力テストを利用して2週間前から計画を立てられるように習慣づけることが望まれる。
- ・「読書が好き」と答える生徒の割合を増やす環境をつくり、意識を高める工夫で学力向上、生き方を学ぶことにつなげる。